			_		· •			
義名 日本語C(書く)			授業形態		その他 授業内に資料を配付する			
	 開講期・曜日・時限 前期 月曜日 1	時限			1X SKY SIC SKYT CHUIS 7 W			
当教員 西馬 薫		T#S/IBITS	, # ¬		,			
	単位数 2 履修開始年次 2年生	± ナンバリン	JPN200					
と概要					授業計画			
み手を意識した論理的な文章の表現方法を身につける。 0字の意見文からレポート作成まで段階を踏んで、日本語の文章力を5	身につける					ひいて、レポートに使われる文体	(000)	復習内容:与えられた課題に取り組むこと、また配布資料を復習し、授業内容の理解を深
				(180分)				
					自動詞や受け身形を使った文 予習内容 配付資料から当日のテーマを確認し、 (120分)	既有知識を振り返りまとめた上で講義に出席すること ((120分)	[復習内容]与えられた課題に取り組むこと、また配布資料を復習し、授業内容の理解を活
						既有知識を振り返りまとめた上で講義に出席すること(配布資料を復習し、授業内容の理解を深めること(120:	(400/):	
					指示語 [予習内容]配付資料から当日のテーマを確認し、 [復習内容]与えられた課題に取り組むこと、まれ	既有知識を振り返りまとめた上で講義に出席すること(上配布資料を復習し、授業内容の理解を深めること(1201	(120分) 0分)	
達目標					段落1 子宮内容 配付資料から当日のテーマを確認し、既有知識を振り返りまとめた上で講義に出席すること(60分) 復国内容 見えられた建理に取り組むこと、また配売資料を復憲し、授集内容の理解を深めること(180分)			
70年 H 1 M 2 M 2 M 2 M 2 M 2 M 2 M 2 M 2 M 2 M					60.250			
がのする意識したわかりとういス学が面けられているもの。				FXM2 予宮内容 配付資料から当日のテーマを確認し、既有知識を振り返りまとめた上で講義に出席すること(60分) 復宮内容 与えられた課題に取り組むこと、また配布資料を復習し、授業内容の理解を深めること(180分)				
					意見文 (200字で述べる) [予習内容]配付資料から当日のテーマを確認し、	既有知識を振り返りまとめた上で講義に出席すること(☆記布資料を復習し、授業内容の理解を深めること(120)	(120分)	
				意見文 (400字-500字で述べる) 「予宮内写 配付資料のも10日のテーマを確認し、既有知識を振り返りまとめた上で講義に出席すること(60分) 復宮内容 与えられた課題に取り組むこと、また配布資料を復習し、授業内容の理解を深めること(180分)				
					解決策を述べる(400字-500字で述べる) 「予留内容局代理外から当日のテーマを確認し、既有知識を振り返りまとめた上で講義に出席すること(60分) [復國内容]与えられた課題に即り組むこと、また配布資料を復留し、搜案内容の理解を求めること(180分)			
11 AD 875					[復習内容]与えられた課題に取り組むこと、ま	記れる資料を復習し、授業内容の理解を深めること (180))分)	
提出課題 授業内に指示する。					レポートを書くための基礎知識 「予宮存取 配付資料から当日のテーマを確認し、既有知識を振り返りまとめた上で講義に出席すること(60分) 「複宮内容 利うえちれた課題 レポート作成)に取り組むこと、また配布資料を復富し、授業内容の理解を深めること(120分)			
XXX 11-110-17 W 6								
					・レボートも書くための基礎知識 「予国内容」配付資料から当日のテーマを確認し、既有知識を振り返りまとめた上で講義に出席すること(120分) 「援国内容」与えられた課題(レボート作成)に取り組むこと、配布資料を復留し、授業内容の理解を深めること(120分)			
				レポートを書くための基礎知識 『予閣内部副化資料から1日のデーマを確認し、既有知識を振り返りまとめた上で講義に出席すること(60分) 『復閣内容 与えられた課題(レポート作成)に取り組むこと、また配付資料を復習し、授業内容の理解を深めること(180分)				
					. レポート発表準備 [予習内容]レポート発表に備え、パワーポイン	への構成を練ったうえで講義に出席すること(60分) パイントを作成する(180分)		
頃(し.ポートや小ニフト笑)に対するフィードバックの亡	· · · ·				[復習内容]配布資料を復習し、発表用のパワール 要約をする	パイントを作成する(180分)		
課題(レポートや小テスト等)に対するフィードパックの方法 課題提出後、個別のフィードパック及び授業内に全体へのフィードパックを行う。				授業形態(アクティブ・ラーニング)				
					○ ア: PBL (課題解決型学習)○ ウ: ディスカッション、ディベート		0	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) エ:グループワーク
					○ オ:ブレゼンテーション		Ť	カ: 実習、フィールドワーク
					キ:その他(AL型であるけども、以」	の項目のいずれにも該当しない場合)		
					在墨河内, 然此后下面中的 1. 以种种类似目面 翻定			
					卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 留学生を対象とした科目群で、論理的文章を書くことを目標にし、知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材を育成する科目である。			
面の基準					11			
出物および課題(40%)、レポート(40%)、授業参加度(20%)によ	る総合評価を行う。							
優修にあたっての注意・助言他					双方向授業の実施及びICTの活用に関す			
・30分以上の運制は3回で指文係とする。 ・出次は毎回とる(5回以上欠席した場合は、単位を認定することができない) ・グループワーク等を交えながら授棄を進めるので、主体的に取り組んでもらいたい。				教師への質疑応答の時間を設けると同時に、学	生同士の対話の機会も設ける			
					実務経験の有無及び活用			
書			,		11			
in Uari.								
× ca ÷				L	備考			
学で学ぶための日本語ライティング .	佐々木瑞枝・細井和代・藤尾喜代子	the Japan times	1980	9784789012218				
訂版日本語の論文力練習帳.	倉八順子	古今書院	2600	9784772261173	1			
新訂版留学生のための論理的な文章の書き方.	二通信子・佐藤不二子	スリーエーネットワー	1400	9784883198429	1			
	i i	12			1 1			